

令和8年2月25日

応募者 各位

熊本大学 発生医学研究所長
中村 輝
(公印省略)

熊本大学発生医学研究所・教授候補者又は准教授（独立准教授）候補者の公募について

熊本大学発生医学研究所では、教授候補者又は准教授（*1 独立准教授）候補者の公募（女性限定公募から一般公募への切り替え）を行います。

とくに、①細胞・器官・個体レベルでの生命現象の制御メカニズム、②器官・臓器の発生・成熟と再建、③生命現象の定量化と数理モデル化、④生命現象と工学分野との融合研究、について独創的な研究を展開し、発生医学研究所教員等との共同研究や研究交流を積極的に進めることのできる方の応募を歓迎いたします。

*1 発生医学研究所の「独立准教授」とは、独立した研究室を主宰し、業績評価・審査により教授に昇任することのできる准教授をいいます(令和2年度に1名、令和4年度に2名の独立准教授が教授へ昇任しています)。

本公募においては、教授又は准教授（独立准教授）のいずれか又は両方に応募することができます。選考委員会において考慮いたしますので、「教授」、「准教授（独立准教授）」のうち選考を希望する職名について、提出書類の「研究・教育に対する抱負」【別記様式5】に明記願います。

発生医学研究所は、発生学的視点による生命科学領域における国際水準の研究活動と人材育成を行うことを使命としております。文部科学大臣認定の「発生医学の共同研究拠点」として研究者コミュニティの共同研究を推進するとともに、平成24年には臓器再建研究センターを設置し、臨床への橋渡し研究の実現を視野に入れています。さらに、令和4年には「高深度オミクス研究センター」を設置し、単一細胞レベルでの高深度解析を行う体制を整備しました。

若手独立研究者の立ち上げを強力にサポートする研究環境

リエゾンラボ研究推進施設を設置し、3名の博士号取得者を含めた専属の技術専門職員による支援体制のもと、最新の共通機器の管理・運営とその解析支援など、着任後すぐに高度の研究を推進することのできる環境を備えています (<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/lila/>)。

隣接する生命資源研究・支援センターでは、遺伝子改変マウスなどを用いた動物実験・技術支援システムを完備しています (<http://irda.kuma-u.jp/divisions/index.html>)。熊本大学は、文部科学省・研究大学強化促進事業の支援対象機関に選定されており、世界水準の研究力の強化を図っています (https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/news/20130807)。

本公募では、このような発生医学研究所の研究環境を最大限に活用して、医学・生命科学における先端的研究を推進する研究者を対象として、研究室を主宰する新進気鋭の教授又は准教授（独立准教授）を求めています。

女性研究者の活躍をサポートする環境

熊本大学は男女共同参画を推進しています。また、発生医学研究所では独自の男女共同参画推進事業を行っています。現在、発生医学研究所における女性教員の割合は8%です。

<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/danjo/>

※本研究所の概略につきましては、熊本大学発生医学研究所ホームページをご参照ください。

<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp>

記

1. 募集職名及び人員 教授又は准教授（独立准教授） 2名

2. 所属 熊本大学発生医学研究所

3. 採用時期 令和8年12月1日以降のできるだけ早い時期（ご相談に応じます。）

4. 応募条件

博士の学位（海外において授与された、これに相当する学位を含む）を有する者

5. 応募期限 令和8年4月30日（木）必着

6. 労働条件等

職務内容 : (雇入れ直後) 教授又は准教授（独立准教授）としての業務に従事する
(変更の範囲) 熊本大学の定める業務

勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制

勤務時間は職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす。

任期の定め: あり

教授: 採用後5年（再任1回。審査により任期の定めのないテニユア転換が可能です。）

准教授（独立准教授）: 採用後5年（再任1回。着任後10年以内に、審査により教授への昇任が可能です。）

<参考: 国立大学法人熊本大学職員の任期に関する規則>

<http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000060.htm>

試用期間 : 6カ月

勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学本荘中地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲

時間外労働: 時間外、深夜、休日労働の有無 有

賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則の定めるところによる

社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入

雇用者 : 国立大学法人熊本大学

7. 採用後の対応

教授、准教授（独立准教授）ともに、教育においては、大学院（医学教育部または薬学教育部）における関連科目の講義と大学院生の研究指導等をご担当いただく予定です。また、着任時には専用の研究活動用スペース及びセットアップ経費を受けるほか、職位に応じて次のようにスタッフの採用が可能です。

(1) 教授: 審査の上で教員（准教授又は助教）1名の採用、ポスドク1名の2年間優先配置。

研究業績がとくに優れる場合、教員（助教）1名の増員が可能です。

(2) 准教授（独立准教授）: 審査の上で教員（助教）1名の採用が可能です。

8. 提出書類

(1) 推薦書（推薦者1名）

(2) 推薦者の連絡先（推薦者の氏名、所属、職名、連絡先（電話番号、メールアドレス））

(3) 履歴書【別記様式1】

メールアドレス及び連絡先をご記入ください。

出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、備考欄に付記してください。

(4) 業績目録【別記様式2】

(5) 主要研究論文目録（総説を含む）【別記様式3】

(6) 研究・教育に関する業績の概要【別記様式4】

(7) 研究・教育に対する抱負【別記様式5】

(8) 研究計画書【別記様式6】

(9) 主要論文5編以内の別刷

(5) 主要研究論文目録に記載した主要論文5編以内の別刷を添付してください

※(3)～(8)の様式は、以下のホームページからダウンロードできます。

- ・熊本大学ホームページ〔採用情報〕 <https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/index>
- ・熊本大学発生医学研究所ホームページ〔求人案内〕 <http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/job>

9. 書類提出方法 メール送付

- ・応募者は「8. 提出書類」に記載の提出書類(2)～(9)の電子媒体(PDF)を送付してください。その際、(2)～(8)は単一のPDFファイルにまとめ、(9)は論文ごとに1つのPDFファイルとしてください。ファイル名はすべてアルファベット表記の氏名を含めてください。
- ・例：(2)～(8): Taro_Kumadai_CV.pdf; (9): Taro_Kumadai_1.pdf, Taro_Kumadai_2.pdf, Taro_Kumadai_3.pdf, Taro_Kumadai_4.pdf, Taro_Kumadai_5.pdf
- ・(1)推薦書は、推薦者から書類提出先へ直接メールにて提出してください。
- ・メールの件名は、「発生医学研究所教員公募関係書類の提出」としてください。
- ・送付容量上限は20MBまでとなっていますので、ご注意ください。ファイルサイズの合計が20MBを超える場合は、事前にメールにてお知らせください。提出用のURLをお送りします。
- ・提出書類を受領後、本件事務担当者から必ず受信確認のメールを返信しますので、3営業日以内に返信がない場合はお手数ですが下記「10. 書類提出先・問合せ先」に記載の電話番号にご連絡ください。

10. 書類提出先・問合せ先

〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号

国立大学法人熊本大学 生命科学系事務部 生命科学先端研究事務課 センター事務チーム

TEL: 096-373-6637 E-mail: iys-senter-2@jimu.kumamoto-u.ac.jp

11. 本件担当 発生医学研究所 教授又は准教授(独立准教授) 選考委員会: 中村 輝

12. その他

- *選考にあたり、候補者各位にはセミナー並びに面談をお願いすることがあります。(オンラインで実施する場合もあります。)
- *提出書類に記載された個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、当該選考及び採用以外には使用しません。
- *選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- *熊本大学はダイバーシティを推進しています。熊本大学における子育て支援や男女共同参画の取り組みについては、以下のURLをご覧ください。
<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>
- *業績の評価に際しては、以下に示す方法で育児休業、介護休業及び産前産後休暇(以下、「育児休業等」という。)を取得した期間(複数ある場合には合算)を考慮します。
- ・最近5年間並びに研究従事年数の業績を評価する際に、当該評価期間における育児休業等を取得した期間に相当する年数を評価期間に加える。
- ・研究従事年数を算出し、評価する際に、当該評価期間における育児休業等を取得した期間に相当する年数を研究従事年数から除く。

*熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000 万円、＜准教授の場合＞800 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalet